

令和7年竹田市教育委員会第7回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和7年7月4日（金）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	吉野 聖子
2 番委員	岡 茂樹
3 番委員	佐藤 健吾
4 番委員（教育長職務代理者）	進 みづほ
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	廣瀬 恵三
学校教育課長	渡部公比古
生涯学習課長	橋本 一彦
まちづくり文化財課長兼 歴史文化館長	佐藤 俊郎
竹田中央学校給食共同調理場長	後藤 誠郎
事務局員 教育総務課課長補佐	古澤 邦利
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第6回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項

議題第26号	竹田市教育委員会事務局処務規則の一部改正について
議題第27号	竹田市英語検定料助成金交付要綱の制定について
議題第28号	竹田市教育委員会の席次について
 - (4) 報告事項

報告第4号	令和7年度竹田市教育費予算（6月補正）について
報告第5号	第2回竹田市長期総合教育計画審議会の開催について
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項
 - (7) 連絡事項
 - (1) 7月幼・小・中行事予定表
 - (2) 7月教育委員会関係日程（予定）表
 - (3) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から
 - (9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後 3 時 00 分〕

廣瀬教育総務課長	委員の出席状況でございます。教育長及び委員 4 名出席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	みなさん、こんにちは。本日は、佐藤健吾委員のデビューであります。よろしくお願いいたします。それでは、ただいまから第 7 回定例会を開会します。第 6 回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。 （署 名）
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
廣瀬教育総務課長	教育長報告を申し上げます。6 月 5 日、南部小の第 58 回蛍おくり、教育委員会第 6 回定例会。6 日、竹田高校九州大会、全国大会出場報告。7 日、竹田小の第 73 回友情の蛍おくり。10 日、11 日、市議会第 2 回定例会代表質問、一般質問。11 日、竹田市中体連球技・剣道大会。13 日、第 1 回社会教育委員会、公民館運営審議会。14 日、大分県教組直入支部定期大会。15 日、市民球技大会。16 日、第 1 回学校運営協議会。18 日、第 4 回校長・所長会議。19 日、竹田市学校保健会総会、特別支援ネットワーク会議、直入中学校 P T A との意見交換会。21 日、「自然を愛する会」岡城跡石垣清掃ボランティア。24 日、地域学校協働推進本部運営委員会。25 日、市議会定例会本会議最終日、大分工業九州大会出場報告、城原自治会長会あいさつ。26 日、定例課長会議。27 日、竹田市男女共同参画社会推進大会、大阪・関西万博国際交流プロジェクト中学生等派遣事業成果報告会。30 日、白丹小学校統合検討委員会。7 月 1 日、第 2 回竹田市長期総合教育計画審議会、2 日、第 1 回行革推進本部会議。3 日、竹田市交通安全対策協議会総会。4 日、教育委員会第 7 回定例会。以上です。
志賀教育長	教育長報告に対する質疑等はありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは、次に移ります。本日の審議案件は 3 件です。初めに議題第 26 号「竹田市教育委員会事務局処務規則の一部改正について」です。教育総務課長、説明をお願いします。
廣瀬教育総務課長	提案理由の説明を行います。議題第 26 号、竹田市教育委員会事務局処務規則の一部改正についてです。この案は、市の機構改革に伴い、教育委員会の理事の職を廃止するため、所要の改正をおこなうものです。あわせて規則の文言等の整理を行うものです。具体的には、別紙に新旧対照表を添付していますのでご覧ください。目次を削除し、章についても削除していますが、一般的に他の規則にはこうした目次や章は現在あまり使われていないことから文言等の整理す

	るものです。資料の 5 ページをご覧ください。第 8 条を削り、第 9 条を第 8 条とし、第 10 条から第 21 条までを 1 条ずつ繰り上げます。また第 4 章を削り、第 20 条の次に「文章の記号及び番号」にかかる 2 条を加えるものです。施行日は令和 7 年 7 月 4 日です。以上です。
志賀教育長	説明が終わりましたので、質疑を受けます。質疑等ありませんか。ないようでしたら、議題第 26 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 27 号「竹田市英語検定料助成金交付要綱の制定について」です。学校教育課長、説明をお願いします
渡部学校教育課長	4 ページをお願いします。議題第 27 号「竹田市英語検定料助成金交付要綱の制定について」ご説明申し上げます。生徒の英語力及び学習意欲の向上を図るため、公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定、英検 S－C B T、英検 S－I n t e r v i e w を受験した生徒の保護者に対し、予算の範囲内で竹田市英語検定料助成金を交付することについて、必要な事項を定めるものがあります。交付対象は、竹田市立中学校に在籍する生徒及び竹田市に住所を有する中学生の保護者になります。助成金額は年度内において 1 回限りとして、英検 4 級及び 5 級は 2,000 円、3 級以上は 3,000 円としております。領収書等の必要書類を添付した「申請書兼請求書」の提出ののち、審査を行い、決定通知書により通知いたします。ちなみ S－C B T とは、パソコンを用いた検定方法で、1 日で 4 技能の測定が可能です。また S－I n t e r v i e w は、合理的配慮が必要な生徒のための検定方法になります。よって、竹田支援学校にもお知らせをして取り組みの周知を行いたいと思います。以上です。
志賀教育長	説明が終わりましたので、質疑を受けます。質疑等ありませんか。ないようでしたら、議題第 27 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 28 号「竹田市教育委員会委員の席次について」です。教育総務課長、説明をお願いします。
廣瀬教育総務課長	提案理由の説明をいたします。議題第 28 号、竹田市教育委員会委員の席次についてです。この案は、甲高幸一委員の任期満了に伴い、先般、6 月 2 日の議会定例第 2 回定例会初日に、佐藤健吾委員の任命にかかる議案の同意議決がなされました。佐藤委員が任命されたことにより、竹田市教育委員会会議規則第 2 条「委員の席次は委員の任命があった都度教育長が会議に諮って、これを定める。」の規定に基づき、委員の席次についてお諮りするものです。なお、席次の決定方法につきましては、これまでの慣例により、席次改正の必要が生じた場合は、その都度、議席番号を一つずつ繰り上げておりますので、今回もこの例に倣いまして、次のとおり提案いたします。委員席次は、1 番「岡茂樹委員」、2 番「佐藤健吾委員」、3 番「進みづほ委員」、4 番、「吉野聖子委員」。以上であります。

志賀教育長	説明が終わりましたので、質疑を受けます。質疑等ありませんか。 ないようでしたら、議題第 28 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。ただいま、新たな席次が指定されましたが、次回の定例会から適用することとし、本日はこのまま、着席している席次にてお願いします。 次に、報告事項です。報告第 4 号「令和 7 年度竹田市教育費予算 (6 月補正) について」、はじめに各課から説明を行い、すべてが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは教育総務課長お願いします。
廣瀬教育総務課長	報告第 4 号、令和 7 年度 6 月補正予算について市議会 6 月定例会により審議いただき 6 月 25 日に議決をいただいております。教育委員会関係について報告します。資料の 2 ページ、まず教育総務課からです。教育総務課分は、歳出のみ 10 款 1 項 2 目、事務局費は会計年度任用職員の異動による通勤手当の増で、費用弁償 149 千円の増額です。次に 10 款 2 項 1 目、小学校管理諸費は、竹田小学校の増築工事設計監理委託料 6,000 千円です。10 款 3 項 1 目、中学校管理諸費ですが、緑ヶ丘中学校の職員室空調の取り換え 1,496 千円ほか 4,486 千円が措置されております。10 款 4 項 1 目、幼稚園管理運営費について、直入地域園児保護者からタクシー送迎利用の追加希望があったことに伴う委託料 880 千円が増額措置されました。教育総務課関係は以上です。
志賀教育長	渡部学校教育課長。
渡部学校教育課長	3 ページをご覧ください。学校教育課です。 歳入の方はございません。 歳出の 10 款 3 項 2 目、中学校教育振興諸費において、3,282 千円の補正が議決されました。内訳は、先ほど説明申し上げた、英検の補助に 510 千円、制服の購入補助に 2,772 千円となります。学校教育課からは以上です。
志賀教育長	橋本生涯学習課長。
橋本生涯学習課長	資料 4 ページをお開きください。 歳入に移動はありません。 歳出は、10 款 5 項 1 目、事業番号 337、社会教育総務諸費について、各団体への補助金、竹田市 P T A 連合会育成補助金 200 千円、竹田市文化連盟補助金 285 千円、竹田市婦人団体連合会育成補助金 100 千円の増額が要求どおり可決されました。次に、10 款 5 項 1 目、事業番号 341、二十歳の集い実施事業費について、二十歳の集い実行委員会への補助金 98 千円が要求どおり可決されました。次に、10 款 5 項 2 目、事業番号 348、集会所教養講座実施事業費について、受講生の増加に伴い 27 千円の増額が要求どおり可決されました。次に、10 款 5 項 3 目、事業番号 350、公民館 (分館) 管理運営費について、九公連研究大会参加に伴う旅費が宿泊費の高騰によるもので、45 千円の増額が要求どおり可決されました。また、公民館活性化モデル事業補助金 300 千円の増額も要求どおり可決されました。次に、10 款 5 項 3 目、事業番号 354、公民館運営事業費 (荻支

所)について、計上漏れしていた 九公連研究大会旅費 1 名分(館長) 17,400 円と宿泊費の高騰に伴う 3 千円の増額分の旅費、合わせて 21 千円の増額が要求どおり可決されました。次に、10 款 5 項 3 目、事業番号 356、公民館運営事業費(久住支所)について、荻支所分同様に、計上漏れしていた 九公連研究大会旅費 1 名分(館長) 17,400 円と宿泊費の高騰に伴う 3 千円の増額分の旅費、合わせて 21 千円、また、施設の修繕費として 2 階熱源室の吸気ファン取替、消防設備の修繕(発信機・客席誘導灯)取替、壁(ボードクロス)の修理代、合わせて 200 千円、久住 YOU 花の会補助金 950 千円の増額が要求どおり可決されました。

次に、10 款 5 項 3 目、事業番号 357、公民館運営事業費(直入支所)について、宿泊費の高騰に伴い、九公連研究大会参加に伴う旅費一名分(館長) 3 千円の増額が、額要どおり可決されました。次に、10 款 5 項 13 目、事業番号 393、佐藤義美記念館運営管理費について、竹田童謡祭実行委員会への補助金 645 千円を増額要求し、可決されました。次に、10 款 5 項 13 目、事業番号 394、あ祖母学舎運営管理費について、水道設備の不具合による修繕費として揚水ポンプの交換 981 千円、改修工事に伴う消耗品費として 802 千円、備品購入費として 452 千円を増額要求し可決されました。次に、10 款 5 項 13 目、事業番号 395、簡易宿泊所管理運営費ですが、施設の修繕料コテージ污水管勾配改修は当初措置済みの予算で対応することとなりました。次に、10 款 6 項 1 目、事業番号 396、保健体育総務諸費について、公共予約システム開始に伴い IP 取得に必要なクライアント証明書使用料として手数料 80 千円の増額、また、岡の里名水マラソン実行委員会 800 千円、ドリームゲームス 150 千円をそれぞれ増額要求し可決されました。次に、10 款 6 項 2 目、事業番号 397、総合運動公園運営管理費について、丸福スタジアム散水設備の加圧ポンプの工事請負費 2,009 千円が、要求どおり可決されました。次に、10 款 6 項 2 目、事業番号 405、体育施設費(荻支所分)について、計上漏れであった、荻小学校運動場トイレ清掃委託料 156 千円が要求どおり可決されました。以上です。

志賀教育長

佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長。

佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長

はい。まちづくり文化財課からです。6 ページをご覧ください。
まず歳入です。県営圃場整備関係発掘調査委託金 1,110 千円の増額です。これは歳出の 10 款 5 項 11 目、県営圃場整備関係発掘調査事業 1,200 千円増額に伴い、委託金を事業費の 92.5%、1,110 千円増額するものであります。次に、城下町遺跡発掘調査につきましては、歳出の 10 款 5 項 11 目、城下町遺跡群埋蔵文化財発掘調査事業 18,523 千円新設に伴い、同額を歳入とするものです。これは、大分銀行竹田支店新築工事に伴い、遺跡が発見されたことにより、事業主負担で本調査を行うため歳入とするものであります。
続いて歳出です。主なものを申し上げます。10 款 5 項 8 目文化財保護事業諸費は、吉川家住宅工事請負費 825 千円、説明版設置工事 1,000 千円です。お客屋敷管理費は、フリーWi-Fi 整備 619 千円です。おたまや公園維持管理費は、東屋屋根改修工事一式 2,376 千円です。文化財保存活用地域計画事業は、報奨金、印刷製本費等 1,200 千円です。10 款 5 項 9 目、岡城跡管理事業費は、井戸枠等改修工事、駐車場トイレポンプ取替工事等合計 4,446 千円です。10 款 5 項 11 目、県営圃場整備関係発掘調査事業は、業務委託料等 1,200 千円です。城下町遺跡群埋蔵文化財発掘調査事業は、合計 18,523 千円です。歳入の部でも説明申

	し上げましたが、大分銀行竹田支店新築工事で試掘の結果遺跡が発見されたため発掘調査を行うものです。まちづくり文化財課からは以上です。 続いて、8 ページをご覧ください。歴史文化館からです。 歳入はありません。歳出です。10 款 5 項 8 目、旧竹田荘管理費は、田能村竹田顕彰会補助金 120 千円です。10 款 5 項 12 目、歴史文化館運営管理費は、展示ケース購入費として 1,173 千円です。歴史文化館学芸費は、アドバイザーを任命し更なる活用を図るため、謝金等 622 千円です。特別展示事業費は、印刷製本費等 2,700 千円です。 歴史文化館からは以上です。
志賀教育長	後藤給食調理場長。
後藤給食調理場長	はい。学校給食調理場です。説明資料の 9 ページをご覧ください。 6 月の議会定例会において議決・承認をいただいた補正予算を報告いたします。歳入はありません。歳出ですが、事業№913 中央調理場運営費については、当初予算において調理場 LED 照明機器導入は、リース事業で計上していましたが、財政課との協議の結果、脱炭素化推進事業債（起債）を活用することとなり、リース事業ではなく工事費として実施する方針に変更しました。これに伴い、13 節の使用料及び賃借料のうち 9,525 千円を減額し、14 節工事請負費として、調理場 LED 照明機器導入工事に 25,495 千円、あわせて物干し場の移設工事に 1,100 千円新たに計上し、合計 26,595 千円を増額補正しております。以上です。
志賀教育長	それでは、説明が終わりましたのでご意見、質疑等はありませんか。 ないようでしたら、報告第 4 号承認してよろしいですか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	承認されました。次に、本日、追加議題で提出されました「報告第 5 号 第 2 回竹田市長期総合教育計画審議会の開催について」です。教育総務課長、お願いします。
廣瀬教育総務課長	報告第 5 号、7 月 1 日に第 2 回竹田市長期総合教育計画審議会を開催しました。資料 3 の審議、(1)からですが、古澤課長補佐から経過報告を行った後、(2)教育長から諮問書を読み上げて諮問を行いました。諮問書は別紙に添付しています。(3)その後、前回の計画策定時の答申に対してどのような対応が行われたかの検証資料の説明を関係課課長から行いました。次に (4)、本年 4 月 16 日から 30 日にかけて実施したアンケート調査結果の説明を古澤課長補佐が行いました。アンケート結果は市のホームページへ掲載して公表することとなりました。まもなくホームページに掲載する予定です。(5)では審議会内に 3 つの部会を置くことを決定しました。「教育行政計画検討部会」、「学校・幼稚園配置等検討部会」、「社会教育計画（生涯学習・スポーツ・歴史文化等）検討部会」を設置することとしました。最後に今後の予定等を説明し計画策定までのスケジュールの提示を行いました。なお、(3)、(4)で資料説明した検証結果、アンケート結果については質疑を行う時間が十分ではないという意見があり、次回 7 月末にあらためて審議会を開催し質疑応答を行うこととしました。以上です

志賀教育長	質疑等はありませんか。 岡委員。
岡委員	はい。支障がなければ審議会の委員の方が、どなたがされているかを教えていただけるとありがたいです。
志賀教育長	教育総務課長。
廣瀬教育総務課長	はい。委員のお名前につきましては、田北敏彦さん。学識経験者として、退職校長という役職区分でお願いをしております。それから姫野武俊さんが、学識経験者、元教育委員さんということです。それから、河野れい子さん。学識経験者、退職校長ということでお願いをしております。それから、山村英治市議会議員。市議会議員から、議会の社会文教委員会からの参加をお願いしております。それから、上島貞子市議会議員、同じく議会の社文の委員会からの参加をお願いをしております。それから、渡邊幸美校長先生です。教育機関の長ということで校長会からの参加です。それから猪股良継さん。教育機関の長ということで校長会からお願いをしております。それから、沖田知子さん。教育機関の団体の役員、竹田教育振興協議会からのご参加です。それから、工藤真琴委員。教育関係団体役員ということで市P連の会長、竹田南部中学校の所属となっております。それから、阿部秀彬さん。同じく、教育関係団体役員、市P連副会長、荻小学校の所属で参加をいただいております。続いて塩塚雄二さん、教育関係団体役員ということで市P連副会長、直入小学校からの所属でご参加いただいております。最後に、後藤いずみ市の総務課長、市長事務局ということで参加をいただいております。会長が、河野れい子さん、副会長が田北敏彦さんのお二方です。
志賀教育長	よろしいでしょうか。
岡委員	はい。
志賀教育長	他にございませんか。 ないようですので、報告第5号について承認してよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に移ります。協議事項はありません。連絡事項について、教育総務課長説明をお願いします。
廣瀬教育総務課長	はい。連絡事項になります。 連絡事項(1)、7月の幼稚園・小中学校の行事予定表につきまして、資料の2ページをご覧ください。7月1日、2日、緑ヶ丘中、直入中の職場体験。3日、荻小、緑ヶ丘中3年の租税教室、竹田中1年生が4日まで宿泊研修。4日、豊岡小、租税教室、緑ヶ丘中サマーコンサート。7日、竹田中、不審者避難訓練。9日、タケタカタロー。10日、荻小6年、選挙出前授業、直入中、防災学習「ときめき土木教室」。10日から11日、祖峰小と荻小のあ祖母学舎宿泊体験学習。

11 日、竹田中、ミュージックフェスタ、直入中、不審者避難訓練、竹田幼稚園、夏祭り。15 日、荻小、不審者避難訓練、竹田南部中 2 年、農業体験。16 日、竹田小の第 66 回堂の里帰り。17 日、白丹小着衣泳体験。18 日、1 学期終業式。また 21 日から 25 日まで大分県中学校総合体育大会。25 日から 26 日まで大分県吹奏楽コンクール。

続きまして、資料 3 ページ、本日定例会以降の教育委員会関係の 7 月日程（予定）表です。7 月 4 日、竹田市教育委員会第 7 回定例会。5 日、竹田市ドリームゲームス。8 日、第 5 回校長・所長会議、学校給食トマト贈呈式。9 日、タケタカタロー3。14 日、第 1 回竹田学校給食運営審議会、第 2 回白丹小学校統合検討委員会。16 日、サフラン終業式。17 日から 18 日、大分県市町村教育長協議総会。18 日、1 学期終業式。21 日、竹田高等学校同窓会総会。24 日、社会教育主事講習現地研修あいさつ。25 日、定例課長会議。29 日、健康づくり推進協議会。30 日、第 1 回竹田市学校支援センター運営協議会。30 日から 31 日、姉妹都市交流学校新聞特派員派遣事業。8 月 5 日、第 1 回竹田市表彰委員会、竹田市教育委員会第 8 回定例会。以上です。

資料 1 ページにお戻りをいただきまして (3) の今後の主な予定です。①教育委員会第 8 回定例会は、8 月 5 日（火）15 時から、本庁議室での開催を予定しております。②第 15 回九州地区教育委員研修大会は 8 月 21 日から 8 月 22 日にかけて長崎県大村市体育文化センターで開催されます。③第 9 回定例会は、9 月 5 日（金）15 時から、この会場での開催を予定しております。連絡事項につきましては以上でございます。

志賀教育長

質疑等はありませんか。
吉野委員。

吉野委員

7 月 30 日の竹田中学校の姉妹都市交流学校新聞特派員派遣事業というのはどういうものか教えてください。

志賀教育長

学校教育課長。

渡部学校教育課長

はい。姉妹都市の中野市の方に、竹田中学校の 3 名が、特派員として、今年はお伺いをします。昨年度、竹田中の方に逆に来ていただきましたので、そのお返しではありませんけど、竹田中からの 3 名ということで、もう、名簿も上がって決定しております。実際 3 日間ありますが、中日の 2 日目が、特に学校の交流等があると聞いております。以上です。

志賀教育長

よろしいでしょうか。

吉野委員

はい。

志賀教育長

他にありませんか。
では連絡事項についてはよろしいでしょうか。

委員

（「はい。」の声）

志賀教育長

それでは、各課からお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。

廣瀬教育総務課長

はい。教育総務課から学校統合について報告します。6月19日(木)18時30分から直入中学校で直入中学校PTAとの意見交換会を開催しました。保護者11名の参加をいただきました。これまでの経過等の資料説明を行い、その後、意見交換を行いました。中学校は市内で1つにする案はないのかといった意見、最後まで反対するわけではないが今はまだその時期ではないといった意見、緑ヶ丘中も含めた今後についての意見などがありました。基本的には統合に積極的な意見はありませんでした。継続協議をお願いして終了しました。

次に白丹小学校についてですが、6月30日に第1回白丹小学校統合検討委員会が開催されました。事前の経過としまして6月7日に白丹小PTA全体会が開催され、今後久住小学校との編入統合に向けて統合検討委員会で協議を進めていくということがPTAの皆さんの話し合いで決定されました。これを受けまして市としまして自治会長会、久住小学校PTA、久住保育所代表者、白丹公民館長などと調整を行い、6月30日に第1回検討委員会を開催いたしました。1回目は委嘱状の交付、会則の承認、これまでの経過説明、今後の進め方等を説明しました。さらに白丹小学校を久住小学校に編入統合する、統合年度を令和8年4月からとするという案を提示しました。次回以降検討委員会で協議を行うこととしました。また会議は傍聴可能です。周知の方法は会議録をはやめに作成して市のホームページで公表すること、白丹自治会長には別途、紙で郵送し、班回覧等で周知していただくようお願いすることとしました。次回開催日は7月14日(月)19時から白丹公民館で開催します。

もう1点は、広報たけた7月号に掲載されましたが、医師会病院の医師、広瀬先生から教育予算に使ってもらいたいとのことで、100万円のご寄付をいただきました。現在活用する事業を検討しているところですが、9月補正予算までには具体的な活用策をまとめていきたいと考えております。以上です。

志賀教育長

渡部学校教育課長。

渡部学校教育長

はい。学校教育課からは四点お願いいたします。

まず一点目が、今年で3回目となりますタケタカタローのお知らせです。7月9日10時20分から廉太郎ホールで行います。パネラーについては、プロフィールを資料に載せておりますのでご覧ください。司会進行も含めて全員が、今年は竹田高校の卒業生ということになっております。よって、今年は、中学生のみならず、竹田高校生も参加して行うようにしております。教育委員の方も、時間が許せばお越しください。

二点目が、中体連関係です。ホチキスどめのちょっと厚手の資料になりますが、竹田市の結果と、7月21日から行われる県総体の組み合わせをお配りしましたので、応援の方よろしくをお願いいたします。陸上、男女のバレー、剣道は地域クラブチームとして参加をいたします。また、サッカーとソフトボールは豊後大野市のチームとして、竹田市の生徒が出場をします。よろしくお願いいたします。

三点目は、児童生徒の外部の大会への参加についてです。昨年度、初めて出まして好成績を残した科学の甲子園ジュニアの1次予選が8月1日に、別府のビーコンプラザで行われます。今年は全中学校から、合計5チームが参加し、良い経験を積んでくれると信じております。また、豊岡小学校28名が8月5日にグランシアターで行われる、Nコンに挑戦をいたします。本年度の目標の1つ

である表現力の向上を養う場として、各学校が果敢にチャレンジしてくれているので、またこれも応援よろしくお願いいたします。
最後になりますが、8月の終わりに、また今年も、各学校の運営協議会及び学力向上会議が入って参りますので、またよろしくお願いいたします。以上です。

志賀教育長

橋本生涯学習課長。

橋本生涯学習課長

はい生涯学習課からの報告になります。
全国大会及び九州大会出場報告についてですが、先程、教育長報告にも一部あり、また、先日の7月の市報に掲載済みでありますので、少しご存じな点があるかと思いますが、ご了承ください。
6月6日に豊岡小学校、5年生の森田稔侍さんが九州大会の出場報告に来られました。6月22日から大分県の杵築市文化体育館で開催される、第30回全九州卓球選手権大会の小学生の部に出場されております。森田さんは現在、小学3年生から6年生の10名の大分県強化選手の一人としても選抜されています。また、同日、竹田高校、山岳部、弓道部、書道・吟詠部、美術部が全国大会及び九州大会の出場報告に来られました。
8月5日から広島県の恐羅漢・十方山・深入山で行われる第69回全国高等学校登山大会に女子部員4名、7月4日から佐賀県の背振山・井原山山系で開催されている、第68回全九州高等学校登山競技大会に女子部員4名、7月25日～27日及び、8月21日～24日にかけて長崎県大村市で開催される第45回九州ブロック大会に男女各1名、6月12日から沖縄県那覇市で開催された第9回全九州高等学校総合文化祭に女子部員1名、7月26日から香川県で開催される第49回全国高等学校総合文化祭に女子部員7名、また、同大会に高等学校文化連盟より推薦を受けた女子1名が弁論部門に参加されます。
更に6月25日には、7月25日から長崎県大村市で開催される国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会スポーツクライミング少年男子の部に出場する、大分工業高校の男子1名が大分県代表として出場するため、報告に来られました。代表選手からは、力強い決意表明をいただいたところです。
それから、第21回市民球技大会についてです。6月15日に第21回市民球技大会を、市内の各会場で8競技にわたって開催したところです。
今後の行事になります。
まず、一点目は令和7年度大分合同新聞社旗争奪ナイターソフトボール大会です。7月14日～17日にかけて本年度の大会を開催致します。上位1チームが9月20日、21日に由布市・日田市・玖珠町で開催される中央大会に出場することとなります。今年度は5チームの申し込みがありました。
二点目です。B&G海洋クラブの開催です。7月12日（土）から8月23日まで、6回の計画で、ヨット、カヌー、サップなど水にかかわるスポーツを中心に楽しみながら心身を鍛えることを目的に、小学校3年生以上を対象とした、B&G海洋クラブを実施します。今日現在で15名の申込をいただいているところです。
三点目は、ジュニアリーダーセミナーの開催についてです。7月22日よりジュニアリーダーセミナーを開催します。本年度はプログラムの一部を市民教養大学受講生と共同で開催する予定です。第1回目は日本赤十字社に講師を依頼し、防災学習や非常時の炊飯実習を行います。
四点目です。社会教育主事講習現地研修の受け入れを行います。7月24日～26

	日の3日間、現在、熊本大学で行われている、社会教育主事講習現地研修の受け入れを行います。受講生には竹田市の社会教育の取り組みや自治公民館活動について学んでもらう他、久住町丸山自治会が独自で取り組んでいる「田んぼでサップ」を体験していただく予定です。 最後です。オリジナルディフューザーづくり教室ということで、8月2日に大分香りの博物館の職員に講師を依頼し、オリジナルディフューザー（瓶に香りを入れて楽しむアイテム）づくり教室を開催します。どなたでも参加できますので友人や親子で参加して頂ければと思います。以上です。
志賀教育長	佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長。
佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長	はい。まちづくり文化財課からは1点です。 お手元にチラシ1枚と缶バッジをお配りしております。更なる入場者数増につなげるため、国指定史跡岡城跡関連の缶バッジを作成し、完成したところです。岡城の写真、絵図、春と秋の風景写真、キャラクター缶バッジ2種の計6種です。岡城料金所と歴史文化館、竹田温泉花見月で、ガチャガチャで取得できますので、様々な機会でお知らせいただければと思いますし、またつけていただければと思います。ちなみに私日替わりで、名札につけておりますので、よろしくをお願いします。 続いて歴史文化館からです。歴史文化館、由学館コレクション展というチラシをご覧ください。新竹田市施行20周年記念と、竹田市歴史文化館由学館開館5周年記念として、由学館コレクション展を開催します。7月12日から8月24日です。開催趣旨としましては、竹田市歴史文化館遊学館は2020年の10月24日に、前身の竹田市立歴史資料館からリニューアルして、オープンをしています。今年がリニューアルオープンから5年の節目となる年です。この節目の年を記念して、5年間で収集した多種多様な名品を紹介する展覧会を開催し、5つのテーマに沿って収集品を展示いたします。チラシの裏の方に、5つのテーマを載せております。①が岡藩と城下町、②祝！市指定文化財、③由学館の動物たち、④受け継がれてきた南画、⑤竹田にゆかりのある芸術家たちというテーマに沿って開催します。なお、7月26日には、学芸員の方によるギャラリートークがありますし、ワークショップ、藍染体験と紙すきも開催します。小学生の夏休みの作品にもいいんじゃないかと思っています。歴史文化館からは以上です。
志賀教育長	後藤給食調理場長。
後藤給食調理場	学校給食調理場から三点お知らせします。 まず、7月7日に、竹田市椎茸生産振興会から乾椎茸5kgの寄贈を頂きます。同会からのご厚意は、平成29年度より始まり、今年で9回目となります。寄贈いただいたしいたけは、竹田・久住両調理場で給食に活用し、地元の特産品を味わう機会として、食育の一環につなげてまいります。 また、今年初めての取り組みとして、大分県農協トマト部会より完熟トマト38kgを寄贈いただくことになりました。7月8日に贈呈式を行います。竹田中央調理場は7月17日に夏野菜カレーとして、久住調理場は11月10日にバターチキンカレーを子どもたちに提供する予定です。 二点目は、夏季休暇中の7月23日に竹田市社会福祉センター調理室にて地元の夏野菜を使った親子料理教室を開催します。この教室は、竹田市学校給食研究

会の活動の一環で、児童と保護者が一緒に地場産食材を使った料理を作り、親子のふれあいを深めることを目的としています。参加は無料で、小学校を通じて申込用紙を配付しています。食材費や参加料は無料です。当日の献立は、カレーとマリネ、フルーツエッグなどを予定しています。

三点目ですが、久住調理場統合の件です。タブレットの久住統合説明資料をお開きください。資料に沿って説明をいたします。久住学校給食共同調理場の統合について、竹田市の給食の概況。竹田市では竹田中央と久住の2ヶ所の給食調理場で、栄養バランスに配慮した献立作成に加え、食材の選定や発注等を行い、児童生徒の成長を支えています。久住調理場の現状及び課題です。現在の久住調理場は、平成15年4月より学校給食業務を開始し、当初は小学校3校、中学校2校を対象としていました。平成17年度の合併時には、小中合わせて341名の児童生徒数に提供していました。現在は小学校97名、中学校54名と、約半数以下に減少しています。中学校については、令和5年度に竹田中学校と統合されています。久住調理場の給食提供能力は500食分となっていますが、児童生徒数の減少に伴い、令和7年度には、基本食数は教職員を含め142食。令和8年度には、約120食程度となる見込みであります。施設面では、建設から22年が経過し、調理場の老朽化が進んでいます。特に、空調設備や調理器具等の修繕が毎年必要となっています。今後、設備の継続使用には、老朽化した厨房機器や温水器及びチラーの更新が必要となり、それぞれ1,000万円規模の費用が見込まれるなど、大規模な設備更新が避けられない状況です。厨房機器やボイラー等故障により、中央調理場が稼働できなくなった場合の代替施設としては、久住調理場は供給能力が不十分であるため、実質的に代替機能を果たすことができません。運営体制については、調理配送業務を竹田市わかば公社に委託しておりますが、調理員の確保が難しく、人員が不足していることから、安定的な人員配置が課題となっています。こうした課題を踏まえ、現体制のまま久住調理場の運営を継続していくことは、調理員の確保や設備更新費用、維持管理費用等の面からも困難であるということから、令和7年度から、久住調理場の給食5業務を中央調理場で行っていくという方針案で準備を始め、令和8年4月を目途に、中央調理場で給食業務の移行ができるよう進めております。2ページ目をお開きください。統合に向けた対策等であります。中央調理場の給食能力は1,600食です。現在の1,226食に久住調理場分を加えても、1,370食であり、数的には問題ありません。距離については、今より遠くなりますが、令和4年度より、直入の小中学校にも配送しております。食缶等は2重構造に交換しており、冷めないような対応をしております。想定される効果であります。経費の節減では、単年度約1,850万円の節減が見込まれます。調理配送業務委託料約850万円、厨房機器空調等委託料170万円、光熱水費550万円等であります。令和8年度、久住調理場で業務を行う場合には、約3,105万円の更新費用がかかる予定であります。今後のスケジュールの予定であります。6月25日に議員説明会を行いました。本日、教育委員会定例会にて説明を行い、7月の現在期末PTAが開催されておりその日程に合わせ、学校及び保護者に説明を行っております。7月14日に、学校給食運営審議会にて説明を行います。11月、教育委員定例会に予算要求及び条例改正案、議題を提出予定しております。12月議会に予算要求及び条例改正案の提出を予定しております。

3ページ目をお開きください。令和7年度の給食調理場の状況であります。給食校は、竹田中央学校給食共同調理場は、現在12校、2園であります。久住調理場は小学校3校。給食数であります。竹田中央学校給食調理場では1,226人、

	久住給食調理場では142人で、合計1,368人に給食提供しております。配送は、竹田の方は、6配送車6ルート、久住の方は1配送車2ルートであります。令和7年度の給食調理場の運営体制であります、竹田の調理場では、調理員配送員合わせて20名。久住調理場では、調理員配送員合わせて8名であります。委託先は、すべて竹田市わかば公社であります。以上であります。
志賀教育長	図書館について廣瀬教育総務課長。
廣瀬教育総務課長 (図書館)	はい。図書館から、夏休み図書館まつりについてお知らせいたします。委員の皆様タブレットに、そのチラシをお配りしております。7月27日(日)、夏休み図書館まつりを開催します。講師に体験型子ども科学館オーラボの今泉純子さんを迎え、「科学実験にチャレンジ、アルギン酸ビーズでスノードームを作ろう」という講座を実施します。7月4日から7月20日を応募期間として参加者を募集しています。子どもたちが、図書館をより身近に感じるような催しになればと期待をしているところです。図書館からは以上です。
志賀教育長	ご意見、質問等はありませんか。 進委員。
進委員	先ほど教育総務課長さんから、直入中の統合のお話し合いのときに、緑ヶ丘中学校も含めたというお話が出たということだったんですが、それは緑ヶ丘中学校も統廃合になる場合に一緒にみたいな感じのお話だったんですか。
志賀教育長	教育総務課長。
廣瀬教育総務課長	はい。緑ヶ丘中学校をすぐというような趣旨ではなくて、中学校全体をこれから10年というようなキーワードも会議の他の意見でも出たんですが、もっと長い目で見たときに、中学校それぞれも一緒に考えないのかという意味合いで出されました。
志賀教育長	よろしいでしょうか。
進委員	萩でもよく他の学校が統廃合の話が出ているので、いずれ萩もということでよく話を耳にするので、ちょっと伺ってみました。ありがとうございます。
志賀教育長	他にないでしょうか。 吉野委員。
吉野委員	同じく直入中での説明会に関してなんですけど、継続協議をお願いした状態で終わっているところなんですけど、今後中学校の保護者の方から特にアクションがない場合はどういう流れになりますか。
志賀教育長	教育総務課長。
廣瀬教育総務課長	はい。当日のご意見の内容も意見の中にも、話す内容が語り尽くしたではないですけれども、そういったご意見もありましたので、あまり近い期間にお邪魔

するのもとというふうには考えておりますが、もちろん下半期の中では、もう一度お伺いをして、新年度を迎える前には、意見交換をお願いしたいなというふうには考えております。

志賀教育長

よろしいでしょうか。

吉野委員

はい。

志賀教育長

その他ありますか。
それでは、最後に教育委員からご意見感想等があれば、発言いただきたいと思います。吉野委員からお願いします。

吉野委員

はい。6月は各種スポーツイベントが多くありましたので、応援に行く機会が多かったです。中体連の球技剣道のところと、陸上競技の線選考会を見せていただいたんですが、部活動の地域移行の経過の過渡期の中で、皆さん関わってくださる方はいろんな試行錯誤の中で、ご苦労が多いんじゃないかと思いますがそんな中で、大きな大会を催してもらって、何ていうんですかね、心のこもった運営をしてくださっている姿を見て、大変頭の下がる思いでした。いつも、市民大会でも町内のスポーツ大会でもそうですけど、スポーツ推進委員の方であつたりとか、競技協会の方であつたりとか、審判の方とかいろいろな方のお世話になっていることがよくわかったので、これからも、盛んに大会が続いてくれたらいいなと思っているところです。ただ、中学生の野球の大会に関してはこの、やり方は今年で終わりになったというところで、最後のご挨拶なんかもお聞きしましたが、本当に今までありがとうございましたというふうに思いました。そして、そういう競技に参加できる機会がある子どもの姿は、いつの時代も美しいということがわかったんですけど、そこに来れてない子がやっぱり10数年前と比べるとうんと多いなということ、簡単に言うとその参加者が少ないというかそういうところも目についてしまったので、単純に言うと部活に入っていない子、そして、中体連以外の競技にも、参加してない子。それから、保護者からの情報で、ノー部活デーが増えたので、放課後時間を持て余す姿もあるという話も聞いたので、そこら辺の実態把握というか、運動したいけどできない子とか、したいことがなくて、時間が余っている子とかがなくなくなって欲しいなというふうに思ったところです。ちょっとうまくまとまりませんが私もまだ実態がわかってないので、ただ10数年前に比べると、中学生はやっぱり、宿題もあつて部活もあつて、時間が足りないぐらい忙しかったころの姿と比べると、ゆとりがある。そこもいいこともあるのかもしれませんが、体力づくりであるとか、また粘り強さとか、我慢強さとか、向上心とか、非認知能力の成長とかが、心配になってきてしまったので、1人も取り残さない運動や、課外活動に参加できる機会を設けることを、見過ごしてはいけない、諦めてはいけないなというふうに思ったところです。以上です。

志賀教育長

岡委員をお願いします。

岡委員

はい。私から2点です。1つ目は久住の調理場の件ですが、やはりとうとう来てしまったかというのが率直な感想です。以前から調理場を食育センターとして機能させてはどうかとか、災害時の緊急対応としての機能とかいろいろ提案は

させていただきましたが、やっぱり時代の流れというか、人口減少それから財政状況を考えると、やむなしなのかなとつくづく感じたところです。

それともう1つは、先日、白丹小の第1回統合検討委員会に傍聴者として参加した感想を述べたいと思うんですが、全体として少し緊張感はありませんでしたが、参加された委員の皆さんが、共通の方向性を見出そうと真摯に前向きに話し合おうとする姿がとても印象的でした。実際保護者の方から今回の検討委員会の進め方がとても丁寧で、大変ありがたく思いますという発言もございました。この発言があったのも、統合案が打ち出されてから、教育委員会の方々そして白丹小の保護者の方、住民の方々が、長期にわたって幾度も話し合いを重ねて、不安解消に向けてきめ細かい対応してこられた結果だと思いますし、ここにおられる皆さん、それからこれまでご尽力いただいた方々本当に頭の下がる思いがしております。会議の終盤は、今後の進め方をどうするかということが主な議題になりました。会議のあと、保護者の方との話の中で、「スケジュールをどうするかということばかりに目を奪われて、白丹小に今通っている子どもたちの気持ちに寄り添うことは決して忘れて欲しくない」という話が出ました。まだ事務局案が承認されたわけではないですが、仮に、次の会議で統合が決まった場合、おそらく夏休みが明けたら、子どもたちは大人から、「実は白丹小は今年度をもって・・・」というようなことを聞かせる可能性も高いかなと思います。通い慣れた大好きな学校が残り半年あまりで急に幕を閉じると聞かされ、子どもたちなりに言葉にできない寂しさみたいなものを心に抱くのではないかなというふうに察しています。そこらあたり、統合まで1年以上時間がたった菅生小の場合とちょっと違うのかなという気はしています。仮に今年度末に統合が決まった場合、だんだん慌ただしくなるとは思うんですけども、どうか子どもたち自体がバタバタと流されることなく平穏の中で、心に残る思い出をたくさん作って欲しいと思いますし、例えば、交流事業として久住小の親子が白丹小の親子と一緒に白丹小周辺のウォークラリーとかごみ拾いをしたりとか、サップ大会をしたりとかでもいいんですけど、要は、何か白丹小にフォーカスしたたくさんの方が寄り添うような形をとってあげて、子どもたちが白丹小に誇りを持てるような取り組みを、是非ともしていただきたいと思います。引き続き丁寧な対応をお願いできればなというふうに思いました。以上です。

志賀教育長

佐藤委員をお願いします。

佐藤委員

はい。まず初めに今日から、この会議に参加をさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

私からは1点、ちょっとお聞きしたい、質問になるかもしれないんですけども、吉野委員の意見とちょっとかぶるかもしれないんですけども、今年からの外部委託になった陸上クラブなんですけども、行きが送迎があるんですか。帰りの方が送迎がないということで、親御さんたちの迎えが必要になるということで、これは陸上クラブに通う子どもたちのスクールバス等の運営ができないのか。また、陸上クラブが週3日、火、木、土でしているんですけども、部活として考えたときに、週3日の運営で、後の日は、何もしてないというか、どう子ども達が過ごされているか、ちょっと把握しないんですけどもその辺をお聞きしたい。

それと、陸上クラブは確か2,000円だったと思うんですけども、費用の負担があるということで、先生方の負担は減っているのかもしれないんですけども、

	親御さんたちの金銭的な負担がちょっと増えているんじゃないかという気がしています。これについてちょっと今後改善する策とかがあれば、お聞きしたいと思います。以上です。
志賀教育長	では、進委員お願いします。
進委員	はい。私からは二点感想と一点提案をしたいと思います。 一点目は、中体連の球技大会に応援に行かせていただいたんですが、その終わりの挨拶で、堀校長先生が、子どもたちの頑張りをたたえた後に、こういう大会ができるのは、周りのサポートがあってこそなので、感謝の気持ちを忘れないようにというようなお話をされていました。私も常日頃から大会とかが行われるのは、周りのサポートと対戦相手あってこそだと思うので、そのような方々に感謝と、対戦相手にもリスペクトができる、竹田の子どもたちであって欲しいなと思ったので、折に触れこういうことを子どもたちに伝えていただけたらなと感じました。そして、あと市民競技大会にもお邪魔したんですが、橋本課長さんが先月おっしゃっていたように、参加チーム、人数ともに増えたということで、とても、どこの会場もにぎやかだったなという印象を受けました。二十歳前後の子たちが、大分市や遠くは福岡から帰ってきて、地元のレジェンドたちと頑張っているのを見て、竹田市が行っている郷土学習というか、地域を学んで地域を愛するという教育が根づいてきているのかなあということを感じました。頼もしく思いました。 あと一つが給食なんですけど、唐揚げ1つがちょっとメディアを賑わせたところからちょっと考えたんですが、竹田市の公式LINEとかでも、献立を載せてくださっているんですが、そこに、教育長が先月おっしゃったのかな、先々月か、竹田市の給食は地産地消80%とかで、私も学校訪問に伺って、毎回給食がとっても楽しみで、見た目もすばらしかったし、美味しかったので、せっかくならこの給食を献立と一緒に、写真で何点か載せられたらいいのかなあというふうに感じました。先ほど場長さんがおっしゃったように、干ししいたけをいただいたときに、どんなものを作ったとか、トマトいただいたときとか、カレーのときはサフランライスが出ると思うんですが、それも竹田市ならではのかなと思うので、そういうのをせっかくなら皆さんに見ていただけたらな、見える化したらいいいんじゃないかなと感じました。以上です。
志賀教育長	それでは質問もありましたので関係の課はお答えをしてください。 まず、陸上クラブの送迎。それから陸上に限らず、家庭の負担について、学校教育課長。
渡部学校教育課長	はい。ありがとうございます。まず、現状についてです。まず、土曜日の部活動については陸上も含めて、すべて、行き帰りのバスは設定できております。ただ、今できていなかったのが、陸上の平日の部分、火、木の帰りになります。というのが、陸上の場合は5時スタートで終わりが7時になります。他の部に比べて非常に遅くなっております。そうした中で、タクシー会社に運転手を委託しているんですが、もう暗くなつての運転は安全を担保できないと。運転士さん非常に高齢化が進んでおります。明るいうちなら、自信を持って運転できるんだがということで、昨年来、そういう話で進んでおります。ただ、やはり帰りもあった方が、吉野委員も言われたように、また参加できる子も増えるんじゃないかなあというふうに感じました。以上です。

ないかというような声が、いろんな方面から聞かれました。そうした中で、今年度、もう一度、タクシー業界の方と話をし、明るいうちだけでも、ということで折衝を行って、昨日、了承を得ました。よって、今年は短いんですけど、9月いっぱいを目途に、そこまでは運行できるんじゃないかということで、計画を組んで、陸上部の方にはお知らせをしたところです。保護者については今度の土曜日、明日、担当が行って説明をするということになっております。ですから少しでも皆さん方の声を反映したいということは、お汲み取りいただきたいなと思います。そもそも、この地域クラブに対して、行政、市がバスを出すというのは、県下でも竹田市だけです。あとはもう自己解決、或いは、バスを雇って、自分たちで費用を出して運行するといったような形です。全国的に見てもあまり数は多くないかなと思っております。ただ、今は、国の実証事業等の予算が、少しはありますので、維持ができているんですが、今後は、国の方でも方針としては、国や県や市で公的な負担及び、受益者負担、このバランスをどう取っていくかっていうのは、今後、国の動向を見ながら考えていきたいなと思っております。また、火、木、土以外の日ですが、いろんなお子さんに話を聞くと、ゆっくりしているという子が一番多いと思うんですけど、勉強に力を入れているという声も聞きます。或いは、この空いた時間に、空いた日に塾、或いは習い事を入れているという声も聞かれます。家の手伝いとかいう声もあります。自分で、或いは家族と相談して、この時間をどう使うかっていうのも、中学生にとっては大事な力なのかなと思っております。

先ほどの2,000円の負担ですが、これもどうしても市からの補助だけでは運営が足りませんので、この徴収については、各地域クラブにお任せをしております。今年は陸上と、バレーで徴収をしていると思います。額はどちらも2,000円だったと思います。ですから先ほど言った、公的負担と受益者負担のバランスということで、今後ここがどうなるか。全国的に見ると、8,000円取っているとかですね、そういうところもあるようにあります。以上です。

志賀教育長

はい、その他何かお答えしたほうがいいのはあったでしょうか。
給食写真付きで発信というか見える化できないかとかいう話がありましたけど、場長。

後藤給食調理場長

はい、進委員のご質問・ご提案についてお答えします。
7月2日のTOS「ゆ〜わくワイド」で、最近の報道に関連し、給食でから揚げ一つしか提供されていないケースが取り上げられた件についてですが、TOSさんが6月末頃から物価高騰への対応について県内全市町村へアンケートを実施されました。竹田市もこれに回答し、竹田中央では手作りのオムレツ、久住調理場では手作りのデザートを提供することで、既製品より安価に対応している旨をお伝えしました。
その後、写真提供の依頼があり、何枚か提供したところ、番組内で大分市坂ノ市の事例に続き、竹田市の取り組みも写真付きで紹介されました。
また、給食メニューについては、市報「あじわいだより」で、地産地消を取り入れた献立を栄養士が紹介しています。今後も、年に数回の頻度で、栄養士と相談しながら地産地消メニューと給食写真を掲載していきたいと考えております。以上です。

志賀教育長

その他、よろしいでしょうか。

給食費無償という市が増えて、そうしていない市は、どうも評判がよろしくない感じがありますが、竹田市の給食費は賄材料費、要するに材料費だけいたでいて、高騰分については市が負担をしています。市によっては、材料費以外に、光熱費も給食費に上乘せしているところもあって、そこは竹田市より、2,000 円近く高いという状況もあります。それでも必要なカロリーが確保できないというふうな話も聞いています。竹田市は、そういうことについては非常に健闘していると思っています。それから大きい調理場ではあんまり美味しくないとか、質が落ちるとかいう話もありますけれども、おいしいか美味しくないかは、献立次第であって、今、竹田市は人工透析が県で一番多いという事情もあるというので、旨塩給食、要するに塩分を非常に控える食事を提供しています。そうすると子どもの評判が良くなります。数年前にスクールヘルスアップ事業というのを県の指定で受けていましたが、その時にはやはり旨塩で豆がやたら出るとかで、栄養士が頑張れば頑張るほど味についてはちょっとどうかな、というふうなことになってしまいます。それは、子どものためを思っの給食だということで、そこはこの場ではご理解いただきたいというふうに思っています。

それから、部活動も国・県が「地域移行」を「地域展開」というふうに名称変更する、としました。「地域展開」です。ちょっとトーンダウンのような気がしないでもないのですが、さっき学校教育課長が言いましたように、学校部活動を地域に移行すると、どうも学校からそういう活動がなくなって家庭任せというふうに思えて、冷たい感じがするようになるんです。バスを出しているのは、本当は竹田しかないです。全国的にはあんまりありません。全国的な話をする、と、学校でやっている部活動でもかなりの部費を集めてやっている。例えば大分市で言えば、結構お金のかかる部だったら月々5,000 円以上というところが多いです。地域移行になる前からです。だから竹田もそうしようという話ではありませんが、財政が厳しい中で、できる限りのところをやっているということです。そういったところは、なかなか理解していただけない点も多いんですけれども、頑張っているところです。

もう 1 つは白丹小にフォーカスした取り組みをというお話もありましたので、それを考えていきたいというふうに思っています。それから、ノー部活デーが増えて、活動しない時間が多くなって、時間を持て余している、という話がありました。自分は校長時代、竹田中だったか南中だったか、「ノー宿題デー」というのを作って、これは生徒のためでもあるし、もう 1 つは教員のために、と思って始めたことですが、「ノー宿題デー」イコール「イエス・ゲーム・デー」というふうに生徒が制度を勝手に解釈して、保護者の評判ははっきり言って悪かったです。

校長がそんなこと言い出して、「ゲームしていい日だと校長が言った」とかいうふうなことを生徒が言うんです。そんなこと言ってないんですけど。時間がたくさんあると、ゲームばかりされると困るので、何か対策を考えていかないといけないなと思っています。

荻の倉原隼一さんの話を思い出したんですけど。倉原さんは、部活動に入っけれど下手くそですぐやめたと言います。それで、家の農作業をしながら、自分でじゃんじゃん走ったということです。そういった話をしても、今の子には通用しないんですが、学校が余った時間の使い方を提示する。それから、家庭でもお手伝いさせる。家庭の教育についても考えてもらう。社会が何かを用意してあげないと、何もできないということではちょっと困るな、というふうな

ことを思います。そういった点も啓発していきたいと思っています。
他、皆さんよろしいでしょうか。
それでは以上で第7回定例会を閉会します。
ありがとうございました。

(閉会)

[閉会時刻:午後4時32分]